

■一般社団法人 鹿児島県作業療法士会 理事会 議事録

日時：令和4年10月17日（月）19：00～

場所：Web 会議

出席者：吉満・藤田・福永・西・柳田・黒木・住吉・坂下・日高・永山・小澤・田中・深見・安藤・峯戸松

欠席者：

報告

報告事項1

提出者：事務局長

士会内での立場：田中有貴

報告：年会費納入状況について

内容：10/17 現在 総会員数 1183 名中 995 名納入済み（84.1%）

報告事項2

提出者：事務局長

士会内での立場：田中有貴

報告：介護認定審査会委員、障害支援区分認定審査会委員の任期満了、再任依頼について

内容：9月末に介護認定審査会委員を20年以上、障害支援区分認定審査会委員を10年以上務められた方々へ任期満了の文書を発送しましたが、問い合わせ等はありませんでした。

再任依頼については薩摩川内市 川内市医師会立市民病院 橋口久仁子先生が任期6年で辞退されたので推薦者を募り、川内市医師会立市民病院 有島愛先生を新規で推薦することになりました。

審査会委員の中には強制退会となっていた方もいらっしゃったので、今後は会費納入状況の確認が必要そうです。

報告事項3

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当

報告：県学会

内容：1. 第32回鹿児島県作業療法学会

1) 学会長：酒井 宣政 氏（種子島医療センター）

2) テーマ：チャレンジ～新しい時代に飛び立つ私達～

3) 開催日：令和4年8月27（土）13:00～・28日（日）15:00

4) 会場：西之表市民会館：現地開催・Web配信のハイブリッド

5) 参加数：延参加数：709名

<27日>

◇学会参加数:114名

・オンライン参加数:78名(内訳:会員:71名、非会員:2名、一般:2名、学生:3名)

・現地参加数 :36名(内訳:会員34名、学生2名)

◇公開講座:247名

・オンライン参加数:74名

・現地参加数 :173名(内訳:会員:34名、学生2名、一般137名)

<28日>

◇学会参加数:175名

・オンライン参加数:128名(内訳:会員:116名、非会員:2名、一般:1名、学生:9名)

・現地参加数 :47名(内訳:会員44名、学生3名)

◇公開講座:173名

・オンライン参加数:116名

・現地参加数 :57名(内訳:会員40名、学生3名、一般10名)

6) 総評

今学会では離島開催、ハイブリッド開催、地域共創開催など新たな試みにチャレンジした学会であり、感染対策にも配慮し、感染者ゼロ、クラスター発生なしと大きなトラブルもなく無事に盛会で終わることができた。

運営については種子島運営スタッフと学術部スタッフが当日密に連携を図りスムーズな運営ができ、さらに教育部スタッフもサポートがあり、部を超えた運営ができたと考える。

企画については参加者、講師から好評の意見が多く、さらにポスターイラスト、コラボ企画では地域人材企業の起用もでき、地域共創につながる機会になった。

広報においてはSNSを活用し、例年以上の県外からの参加者が多くなったことに繋がったと思われる。

収支執行については例年より予算は多くなっているが、広告収入を増やす努力を行い、執行状況は予算案に収まり、適切な執行となっている。

課題としては、進行マニュアル、タイムテーブル、役割分担などの準備不足があり、当日対応することが多く、今後はタスクタイムスケジュールの作成と TODO リスト作成する必要がある。配信では一部、録画失念、音声トラブルがあり、今後細かい点の対策を検討が必要であり、さらにオンデマンド配信を踏まえた対応も今後必要である。通信や広報、SNS 運用方法など個人負担や運用不備などがあるため組織として運用体制構築、人材育成の早急な対応が必須である。

(総評報告者:実行委員長・濱添信人)

報告事項4

提出者:柳田信彦

士会内での立場:学術部担当

報告:学術誌:

内容:Vol.29:新規投稿数:0件

現在:採択1件

特集テーマ:(案)地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割

・Vol.29:新規投稿数:0件

現在:採択1件

特集テーマ:(案)地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割

記事1:地域包括ケアシステムにおける作業療法の実際(案)

執筆者:肝付 氏(みなと病院)

記事2:地域で求められる作業療法士とは～理学療法士の視点から～(案)

執筆者:白濱 氏(株式会社 和月)

記事3:地域で求められる作業療法士とは～作業療法士の視点から～(案)

執筆者:住吉 氏(池田病院)

令和5年3月に発刊予定

報告事項5

提出者:柳田信彦

士会内での立場:学術部担当

報告:研究支援事業:

内容:

①第2回研究法研修会:

タイトル:研究テーマを見つけてみよう～PICOPECOを用いて臨床疑問を構造化できるように～

日時:令和4年度9月21日(水)19時30分～21時

講師:藤田 賢太郎氏(鹿児島医療技術専門学校)

参加者:17名

内容:参加者2名もしくは1名に対してファシリテーター1名配置してグループワークを中心に実施アンケート
結果:参加者からはマンツーマンで話し合えたことで、疑問の明確化ができたや自分の中にある臨床疑問の構造化を一緒に行えたのでスムーズに行うことができたなどの意見がありました。ファシリテーターからは参加者のクニカルクエスチョンを事前に集めておくアドバイスがしやすいなどの意見もありました

②次回以降研修会

第3回研究法研修会

タイトル:研究デザインの決め方と文献検索の方法、

日時:令和4年度10月21日(金)19時30分～21時

講師:寺岡 睦 氏(吉備国際大学保健医療福祉学部)

内容:文献検索の方法や研究様式、デザインを学ぶ

12月 統計 チャート方式、具体例を決めて統計手法選択のパターンを学ぶ

2月 エキスパート向け 量的、質的研究の各エキスパートの先生に自分の研究を話してもらう

③研究相談会:案内を広報中

応募なし

④課題研究助成制度:進行継続中

研究助成承認:加治木温泉病院 藤本皓也氏

テーマ:中枢神経系疾患を伴う対象者に対し、手指屈曲伸展反復運動時の同時性収縮の評価方法の検討

期間:令和4年6月～令和6年5月まで 制度を実施中

※半年ごとに進行状況の確認を行う予定。10月に確認予定。

報告事項 6

提出者:柳田信彦

士会内での立場:学術部担当

報告:学術部コンテンツ

内容:・第32回鹿児島県作業療法学会の講演を m3.com、および一部の講演を Youtube で学会参加者限定に配信
予定

報告事項 7

提出者:坂下寛志

士会内での立場:広報部理事

報告: 202209_鹿児島県作業療法士協会 SNS ガイドライン.pdf

内容: 県士会用の SNS ツールの利用指針として

<https://drive.google.com/file/d/1jK80owx5xrTxfYyiZVjV7K-Si-ZW69Gw/view?usp=sharing>

報告事項 8

提出者:黒木貴博

士会内での立場:基礎研修部理事

報告:10/2 現職者選択研修(身体障害領域)

内容:受講者 83名 収入:332,000円

92名受講希望

うち4名は期日までの受講費の支払いができずキャンセル

報告事項 9

提出者:小澤孝典

士会内での立場:総務部事業調整係

報告:上半期の事業報告ならびに下半期の事業計画

内容:別紙参照

議案

議案 1

提出者：事務局長

士会内での立場：田中有貴

議案：新入会員について（5名）

高橋小夏（タカシ コナツ）大勝病院 協会番号記載無

出水沢鈴香（イズミザワ スズカ）大隅鹿屋病院 協会番号記載無

永田保奈美（ナガタ ホナミ）田上記念病院 87996 再入会

勝田直起子（カツタ ナキコ）菊野病院 協会番号記載無

樋高凌（テカ リョウ）リハアウイング あいら 協会番号無

決議事項：承認

議案 2

提出者：事務局長

士会内での立場：田中有貴

議案：審査会委員について（別紙参照）

介護認定審査会委員、障害支援区分認定審査会委員の新規推薦者を 11 月上旬から随時、各自治体へ報告する必要があるため今月中に決定しておきたい。理事や代議員からの推薦が少ないため、各養成校の先生方にも協力をお願いしている。各部署の部員の方々からも募っていただけないでしょうか。

決議事項：代議員、部員への声掛け、養成校の先生方に卒業生への声掛けをお願いする。

議案 3

提出者：事務局長

士会内での立場：田中有貴

議案：県協会の会員カード、会費納入シールについて

会員カードは当初予定されていた日本協会、県協会の会費納入の一本化を見据え、今年度までの使用を考慮して作成したが、一本化が延期になったため今後の会員カードの運用方法についての確認。

- ① 現行の会員カードを継続使用し、会員カードの上段が 5 年分の会費納入シールで埋まった方は下段の空欄左側から順に新デザインのシールを貼っていただく。（最長 5 年間の会員カード継続利用が可能）

- ・追加費用が最も少ない。
- ・会費納入シールは新デザインに変更。

②現行の会員カードを継続使用するが、会員カードの上段が5年分の会費納入シールで埋まった方で来年度分の会費を納入された方へは現行カードと新デザインのシールを発送する。

- ・現行カードの在庫あり。
- ・会員カードを新デザインにする場合、デザイン料、印刷代などが追加で必要となり、全ての県協会会員へ発送する必要があるため費用が高む。
- ・会員カードを新デザインにする場合は会費納入シールも新デザインに変更する必要がある。

③会員カード、会費納入シールを新デザインとし、会員カードは全ての県協会会員へ発送する。

- ・最も費用、手間が掛かる。

決議事項：新しく会員カード、会費納入シールを作成することに決定。

カードおよびシールのデザインは今後、吉満会長、西副会長と検討予定。

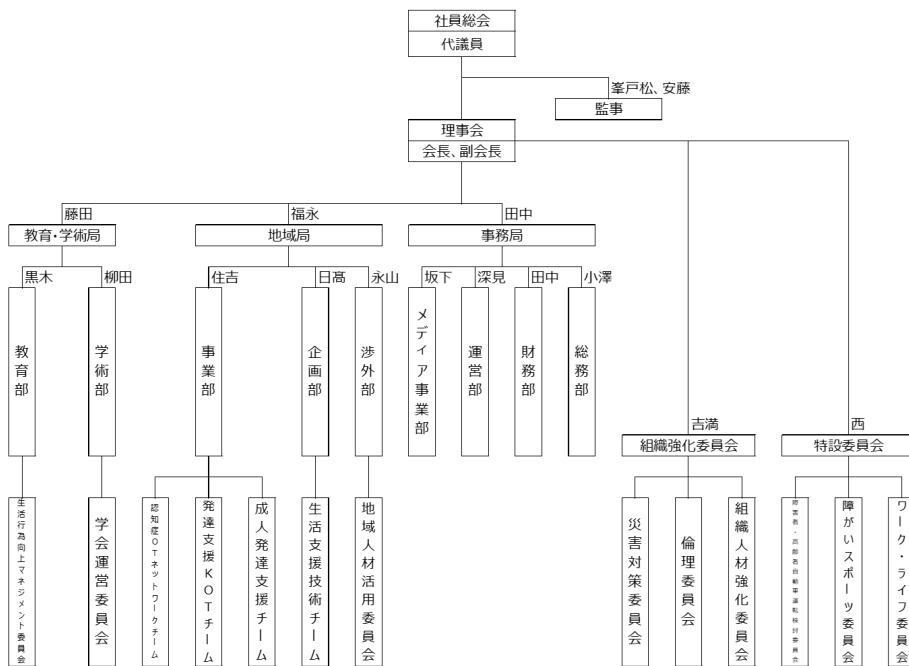
議案 4

提出者：組織改編

士会内での立場：会長

議案：

決 議 事 項 :



パラ e-スポーツ検討委員会（仮称）の創設

生活支援技術チームは事業部では

企画部は講師登録、派遣業務

運営部 代議員とのやり取り・記念式典など単年度の企画など

議案 5

提出者： 吉満孝二

士会内での立場：会長

議案： HP、LINE@での求人広告の可能性について

決議事項：

議案 6

提出者： 坂下寛志

士会内での立場： 広報部理事

議案： 202209_鹿児島県作業療法士協会 SNS ガイドライン.pdf

九州学会用は、上記の簡易版にて作成予定。

決議事項： <https://drive.google.com/file/d/1jK80owx5xrTxfYyiZVjV7K-Si-ZW69Gw/view?usp=sharing>

議案 7

提出者：

士会内での立場：

議案：

決議事項：

【その他】

提出者： 永山俊介

士会内での立場： 地域リハ推進部

内容： 研修会にて非会員の参加申込と 4,000 円の振り込みがあったが、無断欠席された。参加費の変更(4,000 円) など前々回の理事会でも協議されたが、無断欠席などへの対応をどのように考えるか。

※今後について

「事前に連絡がない場合は原則として返金はいたしません」と広報文に記載する

今回については、広報文に明示していなかったため、返金を行う→振込手数料は相手負担

提出者： 田中有貴

士会内での立場： 事務局長

内容： 他都道府県への異動届について

鹿児島から北海道へ転出された会員が異動届を提出されたので、その対応を確認

⇒北海道士会への異動となるため、鹿児島県協会は退会という扱い

次回会議： 11/21 (月)